
PRODUCTION OF DISPLAY DEVICE (56-017385)
Publication Number: JP 56017385 A , February 19, 1981

Inventors:

- SADAMASA TETSUO
- ICHIKAWA OSAMU

Applicants

- TOSHIBA CORP (A Japanese Company or Corporation), JP (Japan)

Application Number: 54-091683 (JP 7991683) , July 20, 1979

International Class (IPC Edition 3):

- G09F-009/33
- H01L-033/00

JAPIO Class:

- 44.9 (COMMUNICATION--- Other)
- 42.2 (ELECTRONICS--- Solid State Components)
- 45.3 (INFORMATION PROCESSING--- Input Output Units)

JAPIO Keywords:

- R116 (ELECTRONIC MATERIALS--- Light Emitting Diodes, LED)
- R124 (CHEMISTRY--- Epoxy Resins)

JAPIO

© 2003 Japan Patent Information Organization. All rights reserved.
Dialog® File Number 347 Accession Number 697085

⑨ 日本国特許庁 (JP)
 ⑩ 公開特許公報 (A)

⑪ 特許出願公開
 昭56-17385

⑫ Int. Cl.³
 G 09 F 9/33
 H 01 L 33/00

識別記号

厅内整理番号
 7013-5C
 7739-5F

⑬ 公開 昭和56年(1981)2月19日
 発明の数 1
 審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑭ ディスプレイ装置の製造方法

⑮ 特 願 昭54-91683
 ⑯ 出 願 昭54(1979)7月20日
 ⑰ 発明者 定政哲雄
 川崎市幸区小向東芝町1 東京芝
 浦電気株式会社総合研究所内

⑮ 発明者 市川修

川崎市幸区小向東芝町1 東京芝
 浦電気株式会社総合研究所内
 ⑯ 出願人 東京芝浦電気株式会社
 川崎市幸区堀川町72番地
 ⑰ 代理人 弁理士 則近義佑 外1名

明 国 等

1. 発明の名称

ディスプレイ装置の製造方法

2. 特許請求の範囲

(1) 発光ダイオードウェーハを保護板に固定する工場と、成形された発光ダイオードウェーハをダイシングして複数の発光ダイオードペレットを分離する工場と、複数個に分離された発光ダイオードペレットを貼附シートに貼付する工場と、該貼附シートに転写した発光ダイオードペレットを膜保護する成形基板のダイパッド上成いは前記発光ダイオードペレット上の少なくともいづれか一方に選択的に導電性ペーストを散布する工場と、前記成形基板のダイパッド上に成形導電性ペーストを介して選択的に前記発光ダイオードペレットを固定する工場と、成形板に前記貼附シートを貼付する工場とを並列してなることを特徴とするディスプレイ装置の製造方法。

(2) 膜保護板のダイパッド上に発光部長の異なる発光ダイオードペレットを面接して固定すること

を特徴とする前記特許請求の範囲第1項記載のディスプレイ装置の製造方法。

3. 発明の詳細な説明

この発明は発光ダイオード(LED)を用いたディスプレイ装置の製造方法に関する。ディスプレイ装置には液晶、アクス、エレクトロルミネッセンス、LED等を用いたものがあり、電子計算機等から出た電気信号を可視光に変換して機械と人間の情報伝達をなすものである。特にLEDを用いたものは応答速度が良いことや、他方式に比べて明るいこと、又、多色表示が容易である等の特徴があり、ディスプレイ装置として有価視されている。しかしLEDを用いたディスプレイ装置の製造作業には多大な労力が必要とされ製造方法の改善が望まれている。

LEDディスプレイの構造を簡単に説明すると、同一平面上に一発光単位となるドットを多段配列させて文字や線がらをドットの点滅によって表示するものである。一発光単位となるドットは図1に示すよりに例えば赤色LEDペレット(1SR)と

(1)

(2)